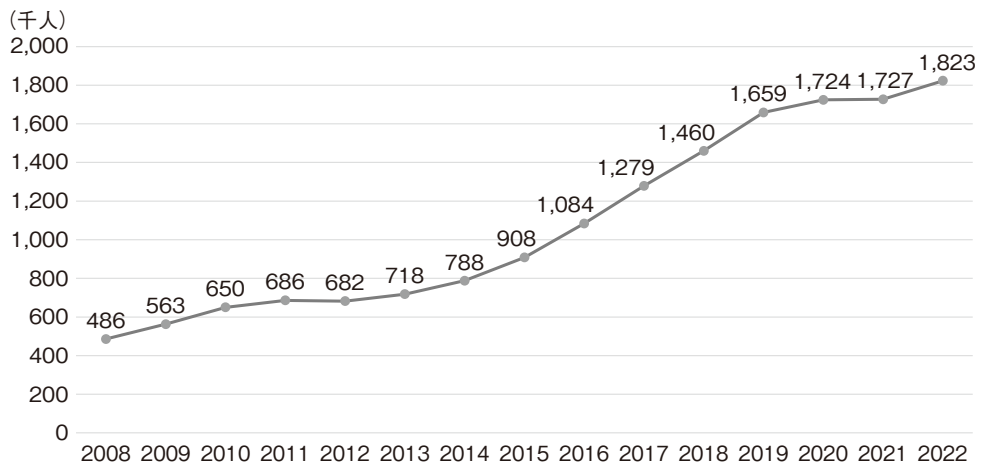


外国人労働者数の推移



コンビニ、スーパー、飲食店等々、外国人労働者と接したことがない方は少ないだろう。実際、厚生労働省「外国人雇用状況」によると、外国人労働者数は年々増え続けている。ここ数年、コロナ禍の影響で停滞したが、2022年は10万人近く増加した。国籍別ではベトナムが最も多く、中国、フィリピンが続く。慢性的な労働者不足が叫ばれる中、外国人労働者の力がなければ、日本の経済は立ち行かない状況だ。一方、日本における外国人労働者への深刻な人権侵害が次々と明らかになり、国際社会から非難を受けるケースも少なくない。今後、医療現場でも外国人患者が増えていくことが予想される。相手にわかりやすく伝える「やさしい日本語」や簡単な英語等、多様なコミュニケーション手段の導入も急がれる。

厚生労働省「外国人雇用状況」より作図。身分に基づく者、専門・技術的分野の在留資格、技能実習、特定活動、留学生のアルバイト等、すべての総数。